2023.10

オンラインで市民参加

愛知県西尾市で中心市街地活性化ビジョンづくりのお手伝いをしています。
ニュースレターNo.145 のトークイベントに続いて、もっとたくさんの市民の意見を入れよう！とグループヒアリングを行っています。その中に、土日、平日の夜でも会場に行けない市民、もっと気軽に家からでも参加したいという市民がいるはず！とオンラインの会を行いました。

☆オンラインでのワークショップ

オンラインは、コロナ禍で行った FAJ（日本ファシリテーション協会）での定例会、毎月開催している未来茶輪で培ったスキルがあります。それを支えてくれる仲間もいますので、安心して実行することができました。参加してくださる方も、参加するのは経験済みという方も多かったので、スムーズに進みました。
使用したかったチャット機能も使いこなしてくださって、模造紙替わりの Google スライドにも違和感がないようでした。
コロナ禍でオンラインのミーティングが広がったことを実感できました。

☆参加者は…

西尾市のまちなかに移住してきた方も参加していらして、西尾市の良いところについても意見がありました。住んでしまっていると当たり前すぎて気が付かない良さをたくさん指摘していただけました。なんと、土日はお仕事、平日夜もなかなか開始時間に会場へ行けないという方で、この日も車の中からご参加くださいました。もちろん、家に着くまでは、耳だけ参加。
参加者の大半は、市外の方だったのですが、西尾市に感心のある方が参加してくださいました。気軽に参加しやすいオンラインの良さが発揮できた会でもありました。
普段は参加を躊躇してしまう方々が参加してくださったことが、本当にありがたく、うれしいことでした。関係人口を増やす、確認することができた時間でもありました。

☆オンラインでのワークショップをするには

FAJ、未来茶輪でも痛感していますが、やはり、テクニカル担当のサポートがなければできません。そして、メインのファシリテーターだけでなく、グループでのファシリテーターも必要で、場慣れしていることタイピングのスキルもあるとよい良いこと、運営側の円滑なコミュニケーションとチームワークがあることが必要だと改めて思いました。

＊オンラインでのワークショップには、運営側のさまざまなスキルが必要だと再確認しました。コロナ禍で得た知識とスキルは、これからも必要で、もっとスキルアップしていこう！広めていこう！と思いました。オンラインの良さも活用していきたいものです。